

## 令和3年度 学校関係者評価

<建学の精神>
『誠実・勤勉・努力を基本理念とする』
<学校の教育目標>
社会から必要とされ、信頼される人間を育てる。そのために次の3つを実践する。
<今年度の重要課題>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や資格取得を通じて、人間性を磨くことを見失わないようにする</li> <li>・卒業生の声を集めて学生に伝えることで、現場の意見や感覚を伝えていく</li> </ul>

評価項目	ご意見	改善事項
1 教育理念・目的 人材育成像	理念については学内でしっかりと共有しており、昨年度より自己評価も上がっている。 軸がぶれていないということで、良いと思う。	コロナの感染状況によって、来年度もマスクを着用してのガイダンスや、オンラインガイダンス等があると思うがこれまで通りしっかりと学校の目指すものを伝えて欲しい。
2 学校運営	自己評価で全員が「4」であれば平均も「4」なので、評価が「3」の項目について学内でもう一度見直してみることが必要かもしれない。勤務年数が長い先生が多いようだが、年数を重ねると馴れもあり、気持ちの面で衰えてくることもあるのではないかな。	オクレンジャーの登録について、学生/保護者の登録締切日を別にし、より早い段階で担任が学生の登録状況を把握できるようにする。
3 教育活動	「人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか」という項目で、評価が「4」となっているのは、先生や職員が働きがいを感じているということだろう。 これからも「人と人との関係」を大切にしたい教育活動を期待している。	ZOOM等の使い方を授業の中で学ぶ体制を、学校として作る。また、将来就職した際に、パソコンやZOOMの使い方に不慣れな人から使い方について質問があったとき、気持ちよく教える心構えについても伝えていく。
4 学修成果	会社でも、若い世代が連鎖してやめていくことがある。やめる理由は様々だと思うが、やめ方に注意を払うことも必要。	全職員で全学生を見る、をさらに推し進めて、退学者を出さない環境を作っていく。
5 学生支援	保護者・学生とも就職活動のサポートに関する評価が低い。その時の学生や保護者が満足しているのかが大切。成功事例のレポートや実体験を記載したものを参考にしてもらいたいのではないかな。	学生や保護者と担任/就職課がしっかりと連携を取り、就職活動をサポートする体制を、さらにしっかりとさせる。

評価項目	ご意見	改善事項
6 教育環境	築年数が経ち、様々な箇所で修繕・改修が必要となっているようなので、順次進めていってほしい。	照明・空調設備の改修を令和4年度に行うが、この後も緊急度と重要度が高いものから順次修繕していく。
7 学生の受入れ募集	実際の会場に赴いてのガイダンスが減ってしまったということだが、今後もそのような状況が続くかもしれないので、オンラインの形式に適した形で広報活動が出来るよう工夫してほしい。	ガイダンスに積極的に参加するとともに、オンライン形式で行われる場合には、その形式を最大限に活かすガイダンスとなるように、職員間で情報を共有して効果を上げる。
8 財務	引き続き、安定した財務基盤を築けるよう努めてほしい。	中長期的に安定するよう、これからも毎年の積み立てを行う。
9 法令等の遵守	自己評価アンケートについて、これまでとの比較数値やグラフなど、わかりやすい資料を希望する。	自己評価結果について、さらにわかりやすい資料となるよう、数字の出し方や見せ方を工夫する。
10 社会貢献 地域貢献	雪かき等、地域のために活動していただけてありがたい。商店街で行った取り組みにも、多くの学生さんに参加いただき、盛り上げていただいた。	地域で行われている活動や催しに関心を持ち、積極的に関わっていく。また卒業研究を通して、地域の魅力や課題の発見、地域の方との協力などを今後も進める。

第2回学校関係者評価委員会 実施日時：令和4年3月23日（水）10:00～11:15

学校関係者評価委員(50音順)

河合 良則 エムケイ商事株式会社 カワイ薬局 代表取締役  
佐藤 正 丸堀自治会 副自治会長 (元長野県労働金庫 業務役)  
田子 拓也 住友林業株式会社 住宅・建築事業本部 信州支店 営業グループ 上田店 店長

学校職員（オブザーバー）

比田井 美恵 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 校長  
比田井 和孝 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 副校長  
山極 学 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 教頭  
高見澤 なが子 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 事務主任